

カタカナ語の使用における中高年者と大学生の比較

杉 島 一 郎

本研究は、日本語の乱れの原因の一つといわれている外来語などのカタカナ語の問題について調査し、考察したものである。一般にカタカナ語を好み、多用しているのは若者であると思われがちであるが、本当にそうなのかを検証した。18歳から25歳の大学生と34歳から68歳の中高年者を対象として、どちらの世代が多くカタカナ語を使用しているのかを、カタカナ語144語について主観的使用頻度の調査を行い、世代間比較を行った。その結果、大学生より中高年者のほうがカタカナ語を多く使用していることがわかった。この原因としては、大学生の育ってきた言語環境がすでにカタカナ語の氾濫した状況であったため、その反動としてカタカナ語を中高年ほど用いないと推測された。

キーワード：カタカナ語、日本語の乱れ、世代間比較

1. はじめに

近年、日本語の乱れが問題となっている。現代使われている日本語において、ことばや表現が誤用されたり、さまざまなことばが増えることによりわかりにくくなってきており、文化の破壊を嘆く声も出ている。平成6年より文化庁は『新ことばシリーズ』を発刊し、こういった問題に対しての啓発を行い、また毎年日本語に関する世論調査を実施して日本語の乱れや日本語に対する意識の世論調査を行っている。それらを見渡すと、近年の日本語の乱れを起こしている主な要因として、敬語の誤用や新造語の増加、「ら」抜きことば等と並んで、外来語などのカタカナ語の氾濫があげられる。

外来語は、古来より中国などから渡ってきたことばが日本語化した漢字で表記されたりするものと、特に明治以降英語などを取り込みカタカナで表記するようなものがあるが、このうち問題とされているのはカタカナで表記されるものである。また、もともと外国語にあったものではないが、外国語っぽく新たに日本で作られた和製英語のような新造語などもカタカナで表記されるものが多いゆえ、これらをあわせて「カタカナ語」と呼ぶようになってきた。このカタカナ語が巷に氾濫することで、日本語がわかりにくくなってきたとする声が増えている。

本研究では、このようなカタカナ語の氾濫について考察を試みた。このカタカナ語の氾濫は、主に誰のせいなのであろうか。文化庁の調査（文化庁、1999、2000）によると、日本語を乱していると思われる年代は10代や20代の若者層である（図1）。また、外来語が生活の中に入ってくることに抵抗を感じているのは中高年層で、若年層はあまり感じていない（図2）。これらの調査結果からすると、日本語を乱す原因となるカタカナ語の乱用者は若年層だと思われるのではないかと推測される。世間一般でも「若者はカタカナ語が好きだ」とする傾向があり、世間の意識レベルでは若者がカタカナ語を氾濫させている主体の様に思われている。

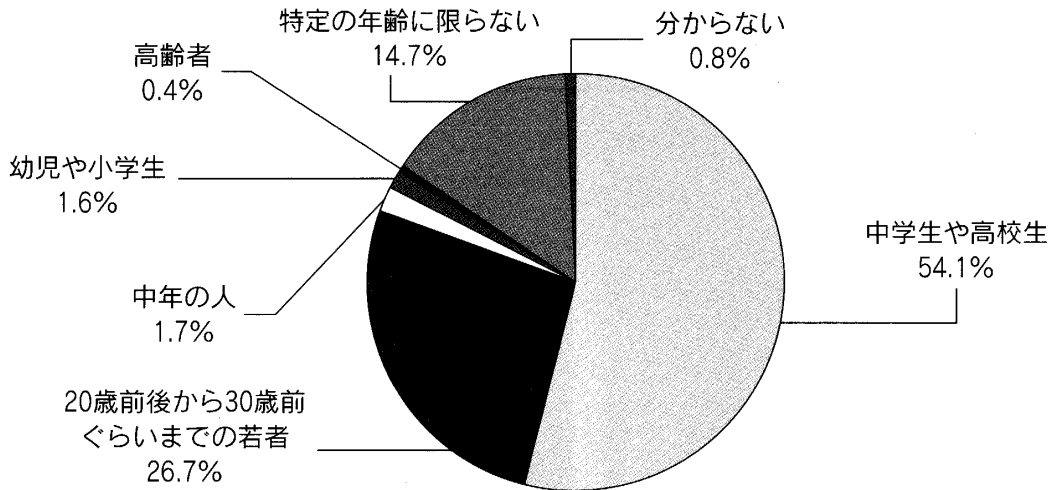


図1. 文化庁の平成12年度の世論調査における「どの年齢層の言葉づかいがみだれているか」の年代別調査結果（文化庁HPより引用）.

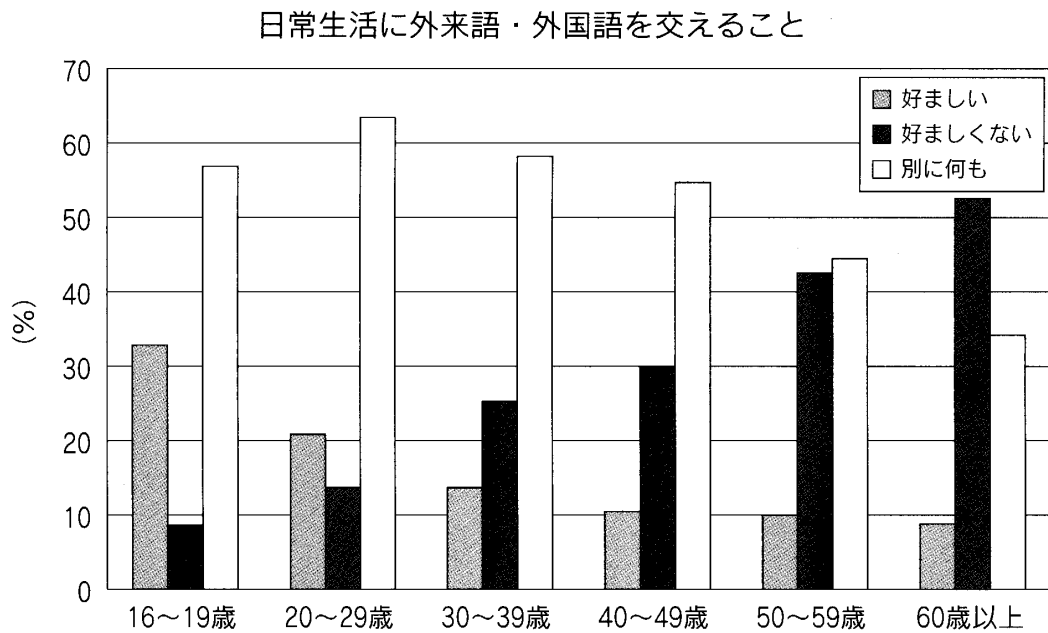


図2. 文化庁の平成11年度世論調査における「カタカナ語の使用についての意識、日常の言語生活の中で外来語を交えることの好悪」について年代別調査結果（文化庁HPより引用）.

果たして、若者がカタカナ語を氾濫させているのだろうか。確かに若者文化の象徴といわれるポップスやロックなどの音楽分野では、グループ名にカタカナ語が多く使用されてきた。しかし、昨今ひらがな表記や漢字表記のグループ名も出てきて人気を得ている。たとえば、「ゆず」や「気志團」などである。逆に、中高年が主たる顧客ではないかと考えられる施設、たとえば公共の温泉施設などにカタカナ語の名前が増えている。また、テレビなどでもいわゆる知識人として出演するような中高年者がカタカナ語を多用しているところをよく見かける。こうした状況から考えると、本当に中高年層より若年層のほうがカタカナ語を多用しているのだろうかという疑問が生まれる。

そこで、本研究では中高年者と若年者のカタカナ語の使用率を比較することにした。中高年者は一般の社会人を対象に、若年層の代表として知識的にもある程度つりあうのではないかとと思われる大学生を対象に調査を行った。カタカナ語に関しては、普段身の回りにある事物の英語訳を中心として、日本語でも表現できるものを選んだ。これらのカタカナ表記された語に対して、普段使っているかどうかを主観的に評定させ、使う割合について世代間での比較分析をおこなった。

2. 方 法

(1) 被 調 査 者

大学生は、福井県内の私立文系大学の学生計133名（男性61名、女性72名）であった。平均年齢は19.7歳、年齢範囲は18～25歳であった。中高年者は、福井県在住の一般の社会人計71名（男性44名、女性27名）であった。平均年齢は48.6歳、年齢範囲は34歳～68歳であった。年代別では、30代が6名、40代が33名、50代が27名、60代が5名であった。大学生については2つの授業の受講者に対して集団で調査した。中高年者に関しては、学生の知人などに個別に調査を依頼した。

(2) 材 料

調査に際して用いたカタカナ語は、ひらがなや漢字を用いた日本語でも表現できる単語のうち、カタカナ語で若年層と中高年層で共通に使われていそうなもの270語を選出した。これら270語に関して、まず大学生に対する調査を行い、その結果をもとに、大学生が非常によく使う語、よく使う語、あまり使わない語、ほとんど使わない語をそれぞれ35語～38語選び、あわせて144語を中高年者用の調査材料とした。中高年者用の材料を約半数に減らしたのは、被調査者に対する負担を軽減するためであった。

(3) 調 査 用 紙

大学生用の調査用紙は1語それぞれにつき、「使う」「使わない」「使うこともある」の選択肢をつくりそれぞれに○をつけるようになっており、一頁につき45語をランダムに並べた6枚一組のものであった。それを順序の効果を出さないために昇順と降順に並べ替えたもの2種類を作った。中高年者用の調査用紙も同様の形式であったが、1頁につき38語をランダムに並べたもので、冊紙は3枚1組であった。中高年層には最終学歴、職業も記入してもらった。それを順序の効果を出さないために昇順と降順に並べ替えたもの2種類の冊子を作った。

(3) 手 続 き

大学生に関しては、調査を授業中に行った。被調査者は、はじめに「この調査はカタカナ語に対するみなさんの意識を調べるものです。カタカナ語とは、外来語や和製英語などの一般にカタカナで書かれたり使われたりするものです。私たちはカタカナ語でもそれ以外でも表現できるような物事に対してどちらをより多く用いているかについて、以下のカタカナ語についてそれぞれ（使う・使うこともある・使わない）を判断していずれかに丸をつけてください。」という説明をうけた後に、開始の合図で一斉に評定をはじめた。調査は時間制限を設けなかった。所要時間は最大約15分程度であった。

中高年者については、依頼できる場所で一人ずつに手渡しで配布し、他の人と相談しないようにしてもらい、各々のペースで回答してもらった。教示は大学生と同様であった。特に謝礼などは渡さなかった。

3. 結 果

調査結果に関しては、中高年者と大学生の比較に用いた144語のみについて示し、その分析のみを記述する。

回答には1部の項目に○をつけていない項目もあったが、欠損値として扱い、全被調査者のデータをもとに分析を行った。中高年者の「使う」の回答の高いもの順にしたものを付表に示した。結果を概観すると、中高年者と大学生でいくらか順位に違いが見られたが、中高年者のほうが「使う」の割合が多いものが多くみられた。実際、全体の約2/3の語(94語)については、中高年者の方が多く「使う」としている。「使う」の割合を主観的使用頻度(以下、使用頻度と略す)として比較してみると、大学生との使用頻度の差が5%以上のものが70語であった。中には使用頻度の差が20%以上のものが15語もあったが、それらは「ガーゼ」「オイル」「ベル」「オートバイ」「ソックス」「ワイヤー」「ホース」「ウインドウ」「クリーン」「カー」「レザー」「ドッグ」「タン」「アース」「フリーザー」であった。「使う」の割合について平均を求めたところ、中高年者は51.7%、大学生は46.9%となった。各語の使用頻度(「使う」の割合)を観測値としてt検定を行ったところ、有意に中高年者のほうが全体の「使う」の頻度が高いことがわかった($t=4.328$, $df=143$, $p<.01$)。この結果をもとに考えると、大学生より中高年者のほうがカタカナ語をよく使用するといえよう。

4. 考 察

近年の日本語の乱れの原因の一つといわれているカタカナ語の氾濫に関して、若年層(大学生)と中高年層のどちらが多くカタカナ語を使用しているのかを調べ、カタカナ語の氾濫の原因を考えるのが本研究の目的であった。日本語(非カタカナ語)でも表記可能な144語について、大学生と中高年者の主観的使用頻度(普段使うかの割合)を調査し、比較検討した。その結果、大学生より中高年者のほうがカタカナ語をより多く使っているのではないかという結果を得た。ただし、被調査者が福井県内在住者に限られ、また中高年者の被調査者数が十分とはいえないが、本研究の結果は一つの示唆としてとらえられよう。本研究で得られたこのような示唆に関して、文化的背景などをもとに考察を行うことにする。

元来、日本語は海外のことばの影響を受けやすく、古くは中国や朝鮮半島から入ってくる大陸の進んだ文化を取り入れ、その後西洋の文化を取り入れる際に、外国語を翻訳せずそのまま用いる形で日本語化させてきた。これが外来語である。外来語は時を経るにしたがって日本語に定着してくるが、使い始めるのは時代の先駆者ということになる。外国の文化を吸収し日本にも広めるという役割を持ったものとして外来語を使い始める可能性が高いのは学者であり、その学問を享受する学生であろう。また、先進的なもの、あるいはこれまでの既成概念では説明できないものや現象を伝えるマスコミも、外来語を使い始める可能性が高い。マスコミなり学校なりどこかで外来語が発信された後にそれらを使い始め、広めていくのは、情報収集力の高い若者であろう。また、若者は革新的にことばや文化を作り出したり変えたりする傾向もある。このような背景を考えると、人々の意識として「カタカナ語を好んで用いるのは若者」という感覚を与えるのは当然のように思える。しかし本研究の結果はこれに反し、大学生より中高年者のほうがカタカナ語を多く使うという結果になった。

本研究の結果を解釈として二つの可能性を考えることが出来よう。一つは大学生にカタカナ語

離れが起こっているとするもので、もう一つは中高年者のほうがカタカナ語を好んで使っているという可能性である。

これらの可能性を考える手がかりとして、前出の図2をよく見てみることにする。これは文化庁の言語意識調査の結果で、「日常生活に外来語・外国語を交えること」に対して「好ましい」か「好ましくない」か「別に何も」思わないかを年代別に示したものである。「日常生活に外来語・外国語を交えることを好ましい」とする割合は、16～19歳が最も高く、次いで20～29歳が高く、30歳以上になると非常に低くなっている。対して「日常生活に外来語・外国語を交えることを好ましくない」とする割合は、年代と共に上昇するが、特に30歳以上で急激に高くなっている。この傾向は若者のほうがカタカナ語を好むことを示しているといえる。しかし、「別に何も思わない」割合を見てみると20～29歳が最も高く、しかもこの年代の圧倒的多数が占めている。40代まではこの「別に何も思わない」が「好ましい」や「好ましくない」を大きく上回っていることがわかる。この「別に何も思わない」のデータは何を意味しているのだろうか。40代より下の年齢で急激に増えており、20代でピークを示していることから、カタカナ語の氾濫と関係するのではないかと推測される。つまり、「別に何も思わない」の高い世代は、すでにカタカナ語が巷にあふれた中で生活してきた世代であり、彼らにとってカタカナ語は日本語の一部として定着してきているのではないだろうか。

もともと外来語などが大量に使われるようになったのは明治以降であるが、急激に増加傾向を見せたのは戦後であるといえる。敗戦とともにアメリカ文化が流入し、豊かなアメリカに憧れを持つようになった。また教育制度の改革によって、高等教育をほとんどの日本人が受けるようになり、英語や海外の文化について広く学ぶようになってきた。その頃から英語など外国語に対する親密度が高まり、かつアメリカ文化に憧を抱いた日本人は、多くの外来語を導入していった。その当時からカタカナ語があふれ出したと考えられる。その後カタカナ語があふれている時代に生まれ育ってきたものにとっては、カタカナ語はありふれたものであり、カタカナ語が生活に混じっていても「別に何も」感じないのではなかろうか。カタカナ語を多用し始めた可能性のある世代を50代から60代のいわゆる団塊の世代であると仮定すると、その次の世代である40代以降に「別に何も」感じない割合が高いという結果は符合する。

その後、高度経済成長を遂げた日本は技術的には世界のトップとなり、アメリカなど西洋諸国に対して特別な憧れを持ちにくくなってきている。バブル崩壊以降に育ってきた10代や20代の若者にとって、西洋文化、特にアメリカ文化は憧れの的でもなんでもなくなってきたのではないだろうか。逆に、アメリカや西洋などに憧れを持っていた世代にとっては、外来語などのカタカナ語は西洋文化の象徴であり、特別な価値観を持ったことばとしてカタカナ語に接している可能性がある。この推論は憶測に過ぎないが、若者はカタカナ語を「好んで」使っているわけでも、「好まない」で使っていないわけでもなく、当たり前として使っている可能性がある。反対に中高年者はカタカナ語を「好んで」使っていたり、「好まないで」使わないようにしたりと、非常に意識的にカタカナ語に接しているのではないだろうか。そうすると、第2の仮説である「中高年者のほうがカタカナ語を好んで使っている」という仮説はある程度可能性があるだろう。

ではなぜ、世間では若者がカタカナ語を好んでいるように感じているのだろうか。おそらく、中高年層にとって自分たちが高度経済成長期に向かえた青年期に、憧れも含めてカタカナ語を多用していた記憶から、今の若者も同じであると捉えているからではないだろうか。こういったことを直接示すデータは存在していないが、今後このような言語感覚の世代差についてより一層の

追求をすべきであろう。

ところで、現在言われているカタカナ語の氾濫の問題は、カタカナ語を多用することで意味がわかりにくくなることへの懸念である。しかし、カタカナ語を用いなければ表現しにくいこともある。井上（1998）によると、カタカナ語には日本語の語彙として長く使用され、なくては不便を感じるいわば「備品的な語」と、一時的な言語状況の中でもはやされるが日本語として定着することなく、やがて日常的な生活場面から消えていく「消耗品的な語」があるとしている。彼は、今日のカタカナ語の氾濫と混乱は消耗品的な語によるものが大きいと推測している。井上（2004）は、備品的な語であるようなカタカナ語を日本語に必要な基本語彙であるにとらえ、語の新密度（天野・近藤，1999）や単語頻度（天野・近藤，2000）、使用頻度（国立国語研究所，1997）などの言語データをもとに550語のカタカナ語基本語彙を選定している。

本研究で用いた語の中でカタカナ語基本語彙に含まれていたのは43語であった（表1）。これらの語は中高年者でも大学生でも使用頻度の比較的高いものが多かった。一概には言えないかもしれないが、残りの101語については消耗品的な語である可能性が高く、カタカナ語の氾濫による問題をひきおこす原因となっているのかもしれない。そこで、カタカナ語基本語彙に含まれて

表1 井上（2004）のカタカナ語基本語彙に含まれていた項目

項目	中高年者		大学生		項目	中高年者		大学生	
	順位	「使う」の割合	順位	「使う」の割合		順位	「使う」の割合	順位	「使う」の割合
プラスチック	1	95.8	9	88.7	キャンプ	25	85.9	29	80.5
ガソリン	2	95.8	2	95.5	ベル	26	83.1	48	60.2
カレンダー	3	94.4	8	88.8	デパート	27	83.1	33	80.5
ドア	4	94.4	3	94.7	ビジネス	29	81.7	36	66.9
カメラ	5	94.4	1	94.8	オートバイ	33	78.9	60	56.7
スポーツ	6	93.0	5	91.8	ペダル	37	76.1	35	66.9
ホース	7	91.5	74	42.1	カロリー	39	76.1	27	81.2
ボール	8	91.5	7	90.2	スタッフ	40	76.1	22	82.1
ホテル	9	91.5	17	85.7	ダンス	41	76.1	31	79.9
シャツ	10	94.2	6	91.0	プリンター	43	75.7	24	81.3
ポスター	12	90.1	11	89.4	クリーン	45	73.2	82	39.1
スケジュール	13	90.1	20	83.5	スター	46	73.2	63	56.0
テスト	14	88.7	4	93.2	ヨット	48	73.2	44	62.7
ガーゼ	15	88.7	34	67.7	ペーパー	51	70.4	61	57.1
オレンジ	16	88.7	25	80.6	ゴールド	52	70.4	58	57.1
バッグ	17	88.7	26	80.6	リング	53	69.0	47	60.9
オイル	18	88.7	37	65.7	コンパクト	54	69.0	56	57.9
チェック	19	88.7	10	88.1	ドレス	55	69.0	62	56.7
グループ	20	87.3	19	84.3	ミラー	57	66.2	51	59.4
アナウンサー	21	87.3	30	79.9	ドクター	75	50.7	90	36.6
ポスト	22	87.3	21	82.8	エキストラ	93	33.8	88	36.6
アクセサリー	24	85.9	14	88.6					

註) 順位は144語中の順位。割合は%。

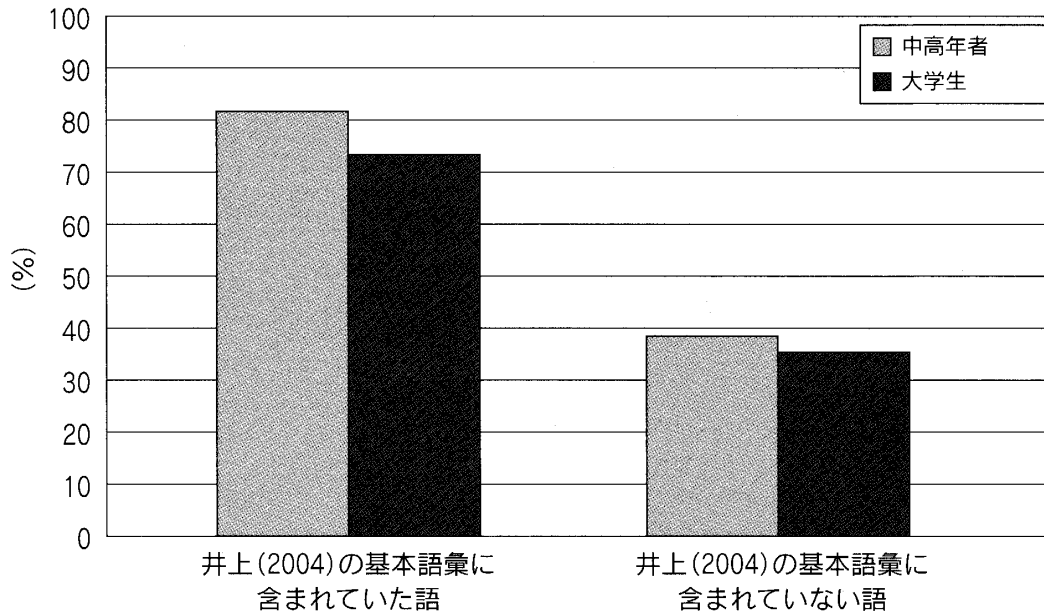


図3. 井上(2004)のカタカナ語基本語彙に含まれていた43語と含まれていなかった101語の世代別平均使用頻度。

いた43語と、基本語彙に含まれていない101語について世代間の平均使用頻度の比較を試みた(図3)。その結果、備品的な語とされる43語の平均使用頻度は、中高年者が81.5%で大学生が73.6%と明らかに中高年者のほうが高かった。逆に、消耗品的な語である可能性が高いとされる101語については、中高年者は38.9%、大学生は35.5%となりあまり差はみられなかった。

普段使うべきカタカナ語ともいえるものを大学生のほうが中高年者より使っておらず、使う必要のあまりないカタカナ語については世代間の差はないということになる。この分析結果から考えると、大学生はむやみにカタカナ語を使おうとしているわけではなく、使う必要のあるカタカナ語さえあまり使おうとしていないということになる。この分析からすると、第1の仮説である、大学生がカタカナ語離れを起こしているのではないかという可能性も捨てきれなくなる。大学生にカタカナ語離れが起こっているとすると、大学生の結果は、カタカナ語の氾濫する日本語社会に対する反動を示しているのかもしれない。

結論として、大学生など若者層は、中高年層ほどカタカナ語を用いているわけではなく、近年言われているカタカナ語の氾濫の原因を作っている主体ではなさそうである。カタカナ語の氾濫は戦後時間をかけて起こってきたもので、いわゆる大人社会そのものがカタカナ語を氾濫させてきたと考えられよう。若者はこのような混乱した言語環境の中で生活しているのである。これはカタカナ語に限ったわけではなく、敬語に関してもいえるかもしれない。「今の若者は敬語も使えない」と嘆く声があるが、世間一般に正しく敬語が使えている人がどれだけいるのであろうか。おかしい言語環境で暮らしていて、コミュニケーションの不便さを感じ出した若者たちは、その状況をなんとかしようとしているのかもしれない。

引用文献

- 天野成昭・近藤公久（編著） 1999 日本語の語彙特性 第1巻 単語親密度 三省堂.
- 天野成昭・近藤公久（編著） 2000 日本語の語彙特性 第1巻 頻度①② 三省堂.
- 井上道雄 1998 カタカナ語表記への言語心理学からの提案：読みやすい語表記をめざして－文節表記
神戸山手女子短期大学紀要, 41, 45-58.
- 井上道雄 2004 カタカナ語（外来語）基本語彙550語－その語彙特性と選定基準－神戸山手大学紀要, 6,
65-79.
- 文化庁 1999 平成11年度「国語に対する世論調査」の結果について
<http://www.bunka.go.jp/1kokugo/frame.asp?0fl=list&id=1000001687&clc=1000000073>{9.html
平成17年10月5日閲覧
- 文化庁 2000 平成12年度「国語に対する世論調査」の結果について
<http://www.bunka.go.jp/1kokugo/frame.asp?0fl=list&id=1000001687&clc=1000000073>{9.html
平成17年10月7日閲覧
- 付記 本研究の実施に際して、本学人間学部コミュニケーション学科2004年度卒業生、高木伸吾君に多大な協力を得た。また、本研究の調査結果は彼の卒業研究でも利用されたものである。ここに感謝の意を表します。

付表 中高年層と若年層の使用頻度

番号	単語	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合	若 者				
						順位	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合
1	プラスチック	68	3	0	95.8	9	118	11	4	88.7
2	ガソリン	68	2	1	95.8	2	127	5	1	95.5
3	カレンダー	67	4	0	94.4	8	119	12	3	88.8
4	ドア	67	4	0	94.4	3	126	5	2	94.7
5	カメラ	67	4	0	94.4	1	127	7	0	94.8
6	スポーツ	66	3	2	93.0	5	123	10	1	91.8
7	ホース	65	6	0	91.5	74	56	20	57	42.1
8	ボール	65	6	0	91.5	7	120	10	3	90.2
9	ホテル	65	6	0	91.5	17	114	15	4	85.7
10	シャツ	65	4	0	94.2	6	122	9	3	91.0
11	アンケート	64	6	1	90.1	12	117	14	2	88.0
12	ポスター	64	6	1	90.1	11	118	9	5	89.4
13	スケジュール	64	4	3	90.1	20	111	18	4	83.5
14	テスト	63	8	0	88.7	4	124	7	2	93.2
15	ガーゼ	63	8	0	88.7	34	90	21	22	67.7
16	オレンジ	63	8	0	88.7	25	108	20	6	80.6
17	バッグ	63	8	0	88.7	26	108	20	6	80.6
18	オイル	63	6	2	88.7	37	88	32	14	65.7
19	チェック	63	6	2	88.7	10	118	10	6	88.1
20	グループ	62	9	0	87.3	19	113	15	6	84.3
21	アナウンサー	62	8	1	87.3	30	107	18	9	79.9
22	ポスト	62	5	4	87.3	21	111	15	8	82.8
23	リサイクル	61	9	1	85.9	16	116	13	4	87.2
24	アクセサリ	61	8	2	85.9	14	117	11	4	88.6
25	キャンプ	61	6	4	85.9	29	107	19	7	80.5
26	ベル	59	9	3	83.1	48	80	22	31	60.2
27	デパート	59	9	3	83.1	33	107	15	11	80.5
28	ポテト	58	11	2	81.7	18	114	14	5	85.7
29	ビジネス	58	10	3	81.7	36	89	26	18	66.9
30	ライバル	58	9	4	81.7	32	107	17	10	79.9
31	チケット	57	13	1	80.3	15	116	16	2	86.6
32	ソックス	57	10	4	80.3	64	75	33	26	56.0
33	オートバイ	56	11	4	78.9	60	76	33	25	56.7
34	インタビュー	56	7	8	78.9	23	109	17	7	82.0
35	ワイヤー	55	10	6	77.5	72	56	41	37	41.8
36	グレープ	55	10	6	77.5	43	85	31	18	63.4
37	ペダル	54	14	3	76.1	35	89	27	17	66.9
38	ソファー	54	14	3	76.1	28	108	17	8	81.2
39	カロリー	54	14	3	76.1	27	108	19	6	81.2
40	スタッフ	54	12	5	76.1	22	110	19	5	82.1
41	ダンス	54	8	9	76.1	31	107	18	9	79.9
42	キャッシュ	53	15	3	74.6	42	85	32	17	63.4

カタカナ語の使用における中高年者と大学生の比較

番号	単語	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合	若 者				
						順位	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合
43	プリンター	53	10	7	75.7	24	109	14	11	81.3
44	メリット	52	16	3	73.2	46	81	36	17	60.4
45	クリーン	52	14	5	73.2	82	52	41	40	39.1
46	スター	52	14	5	73.2	63	75	42	17	56.0
47	キャンデー	52	13	6	73.2	39	87	22	24	65.4
48	ヨット	52	11	8	73.2	44	84	22	28	62.7
49	エチケット	51	16	4	71.8	54	77	34	23	57.5
50	スーツケース	51	13	7	71.8	41	86	22	26	64.2
51	ペーパー	50	16	5	70.4	61	76	30	27	57.1
52	ゴールド	50	14	7	70.4	58	76	43	14	57.1
53	リング	49	18	4	69.0	47	81	35	17	60.9
54	コンパクト	49	17	5	69.0	56	77	33	23	57.9
55	ドレス	49	10	12	69.0	62	76	26	32	56.7
56	ウィンドウ	47	19	5	66.2	77	55	29	49	41.4
57	ミラー	47	19	5	66.2	51	79	32	22	59.4
58	コミュニケーション	46	19	6	64.8	13	117	14	2	88.0
59	ハッピー	46	16	9	64.8	49	79	37	18	59.0
60	グルメ	45	23	3	63.4	65	75	29	30	56.0
61	レーズン	45	17	9	63.4	66	74	31	29	55.2
62	カー	45	17	9	63.4	91	49	34	51	36.6
63	アース	45	16	10	63.4	133	15	24	95	11.2
64	ホワイトボード	44	19	8	62.0	52	79	30	24	59.4
65	レッド	44	19	8	62.0	69	58	40	35	43.6
66	アタック	44	17	10	62.0	53	77	38	19	57.5
67	ドッグ	44	17	10	62.0	103	40	38	56	29.9
68	イコール	41	19	10	58.6	50	79	32	23	59.0
69	スノー	39	24	7	55.7	79	53	40	41	39.6
70	ペイント	39	21	11	54.9	59	76	33	25	56.7
71	グリップ	39	20	12	54.9	80	53	31	50	39.6
72	リッチ	38	25	8	53.5	55	77	34	23	57.5
73	フラワー	38	25	8	53.5	81	52	47	34	39.1
74	レザー	38	15	18	53.5	99	43	33	58	32.1
75	ドクター	36	22	13	50.7	90	49	35	50	36.6
76	リゾート	35	25	11	49.3	57	77	30	27	57.5
77	ボーイ	35	23	13	49.3	96	45	45	43	33.8
78	ビーチ	34	25	12	47.9	40	86	27	20	64.7
79	メガホン	33	22	16	46.5	71	57	31	46	42.5
80	チェリー	33	22	16	46.5	38	87	28	17	65.9
81	エクス	32	26	13	45.1	87	50	31	52	37.6
82	フィクション	32	20	19	45.1	68	74	25	34	55.6
83	ガール	31	25	14	44.3	92	48	42	43	36.1
84	パール	31	21	19	43.7	100	42	37	55	31.3
85	レフェリー	31	17	23	43.7	95	46	27	61	34.3

番号	単語	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合	若 者				
						順位	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合
86	タン	31	16	24	43.7	106	24	17	92	18.0
87	フリーザー	30	26	15	42.3	136	14	24	95	10.5
88	シティ	29	23	17	42.0	93	48	39	46	36.1
89	ティー	27	30	14	38.0	83	51	42	40	38.3
90	ゲット	27	28	16	38.0	45	82	33	19	61.2
91	ドラッグ	25	26	20	35.2	76	55	36	43	41.0
92	シンガー	25	22	23	35.7	97	45	38	49	34.1
93	エキストラ	24	23	24	33.8	88	49	51	34	36.6
94	イニング	24	16	31	33.8	118	19	16	98	14.3
95	ライフスタイル	23	29	19	32.4	70	57	35	41	42.9
96	アバウト	23	27	21	32.4	86	50	39	45	37.3
97	ディフェンス	23	26	21	32.9	67	74	30	30	55.2
98	リクルート	23	24	24	32.4	105	25	43	65	18.8
99	カリキュラム	23	17	31	32.4	85	50	39	45	37.3
100	ウッド	21	27	23	29.6	130	15	40	79	11.2
101	ブロンズ	21	27	23	29.6	120	18	35	81	13.4
102	シンポジウム	21	23	27	29.6	128	16	31	87	11.9
103	ビーナス	21	22	27	30.0	124	17	23	94	12.7
104	タウン	20	28	23	28.2	112	21	41	72	15.7
105	ベーカリー	20	23	28	28.2	111	21	44	68	15.8
106	コスチューム	19	27	25	26.8	89	49	40	44	36.8
107	アカデミー	19	24	28	26.8	78	54	29	50	40.6
108	サン	18	18	35	25.4	125	17	23	93	12.8
109	ラウンジ	17	32	22	23.9	113	20	29	85	14.9
110	ソウル	17	24	30	23.9	73	56	32	46	41.8
111	バイブル	17	18	36	23.9	107	23	22	89	17.2
112	ニュースペーパー	16	29	25	22.9	115	20	25	88	15.0
113	レインボウ	16	28	24	23.5	94	47	42	44	35.3
114	ピクチャー	15	23	31	21.7	75	55	43	36	41.0
115	チャイニーズ	14	34	23	19.7	84	51	40	42	38.3
116	キャロット	14	25	32	19.7	127	16	32	85	12.0
117	ストーン	14	24	33	19.7	104	25	49	59	18.8
118	シガレット	13	32	26	18.3	117	19	21	93	14.3
119	メンタル	13	32	26	18.3	102	41	34	58	30.8
120	ベアー	13	20	38	18.3	121	18	28	86	13.6
121	ルーフ	13	20	37	18.6	141	5	12	116	3.8
122	サンダー	13	18	39	18.6	109	22	25	87	16.4
123	トレイン	13	17	41	18.3	134	15	23	95	11.3
124	キャメル	12	15	44	16.9	122	18	24	92	13.4
125	ピッグ	11	18	42	15.5	135	15	16	103	11.2
126	ドール	10	23	38	14.1	123	17	38	78	12.8
127	リアリティー	9	22	40	12.7	101	42	31	61	31.3
128	ビレッジ	8	21	42	11.3	110	22	25	86	16.5

カタカナ語の使用における中高年者と大学生の比較

番号	単語	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合	若 者				
						順位	使う	使うこと もある	使わ ない	使うの 割合
129	シンフォニー	8	19	43	11.4	138	10	24	100	7.5
130	カルテット	8	18	45	11.3	139	8	14	112	6.0
131	フォトグラフ	7	26	37	10.0	108	22	39	73	16.4
132	エクセレント	7	18	45	10.0	132	15	26	93	11.2
133	リバー	6	18	47	8.5	131	15	28	90	11.3
134	フォックス	6	14	49	8.7	143	4	13	116	3.0
135	モス	6	9	56	8.5	98	45	17	72	33.6
136	レジュメ	6	7	58	8.5	119	19	13	101	14.3
137	スネーク	5	25	41	7.0	116	20	22	91	15.0
138	クインテット	5	13	53	7.0	142	5	8	120	3.8
139	ソルト	4	20	47	5.6	137	14	24	95	10.5
140	ビートル	4	11	54	5.8	114	20	25	89	14.9
141	スワロウ	3	12	55	4.3	140	6	13	114	4.5
142	エヴォリューション	1	10	59	1.4	129	16	25	93	11.9
143	ホエール	0	13	58	0.0	144	1	8	124	0.8
144	プルート	0	7	64	0.0	126	17	11	106	12.7